

[033] 比較社会文化研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/26021>

出版情報：比較社会文化研究. 33, 2013-02-15. 九州大学大学院比較社会文化研究科
バージョン：
権利関係：



編集後記

執筆者の専門分野がまちまちで、なおかつ共通のテーマもない雑誌における編集委員の仕事とは、いったいどのようなものでしょうか。

それは、第一に、雑誌の作品としての統一性を保つことだと言えるでしょう。雑誌というものが、単に執筆者達の論稿を寄せ集めて、ホッチキスで綴じたものではない以上、一冊の書籍としての装丁を整え、ひとまとまりの作品としての体裁を気に懸ける役割は不可欠です。言うならば、執筆者各自にとっての作品とは、雑誌の一部である自分の論稿を意味するのに対して、編集委員にとってのそれは、紛れもなく、全員の論稿を束ねたひとつのまとまりとしての雑誌それ自体なのです。

そして、第二に、編集委員は雑誌の継続性という点にも、気を配らなければなりません。おかげさまで、1997年に創刊された『比較社会文化研究』も、今回第33号の刊行を迎えることが出来ました。あるひとつの名前の付いた雑誌が、継続して刊行されている事実は、とりもなおさず、これまでにそれだけ多くの関係者の努力が存在したということでしょう。とりわけ、創刊に至るまでの段階や、草創期においてご尽力いただいた皆様のご苦勞については、我々の想像を絶するものがあつたに違いありません。

こうして、自分達が手掛けるまでの雑誌の来し方に思いを巡らせつつ、その行く末に期待を寄せることも、編集委員の大事な仕事だと言えましょう。その意味で、我々は今後も本誌が40号、50号と号を重ねることを願ってやみません。そして、そのように本誌が刊行され続けていくことこそが、今号を含めた、これまでの執筆者や編集担当者のご苦勞に報いるための最良の方法であると確信致します。

編集委員一同

『比較社会文化研究』第33号

2013年2月15日発行

編集委員／水野 崇・李 慧・中立 悠紀

和文校閲者／橋口絢実 (薛華民論文)、早瀬沙織 (趙寅秋論文)

松田朋子 (李慧論文)、阿部康久 (李霄論文)

英文校閲／Bouarib Allan (Kazuhisa Fujiyama論文・Kyohei Yoshizu論文)、Jonathan Aleles (Wei LI論文)

Andrew Hall (Shuanglong LI論文)、ヴォランスキ・バルトシュ (英文要旨)

発行／九州大学大学院比較社会文化学府 学府長 服部英雄

〒819-0395 福岡市西区大字元岡744 TEL 092-802-5788

Faculty of Social and Cultural Studies, Kyushu University

744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, Japan